

2016年11月28日
内閣サイバーセキュリティセンター

重要インフラ 13 分野が一堂に会して I T 障害対応のための演習を実施 ～【2016 年度分野横断的演習】～

内閣サイバーセキュリティセンターは、重要インフラ全体の I T 障害対応能力の維持・向上を目的に、今年度も分野横断的演習を実施します。本演習の特徴は以下のとおりです。

- ① 最新の I T 障害事例を踏まえたシナリオで演習します。
- ② 重要インフラ 13 分野の事業者等が一堂に会して相互に連携し情報共有・対処を行います。
- ③ 本演習は 2006 年度から実施しており、今回は、過去最大規模となる見込みです。

1. 実施日時・場所

2016 年 12 月 7 日 (水) 12:15～17:00
砂防会館別館 (東京都千代田区平河町 2-7-5)

2. 参加機関等

【重要インフラ事業者等】

13 分野 (情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油)¹

【政府機関等】

重要インフラ所管省庁 (金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省)、
情報セキュリティ関係機関、NISC 等

合計 約 500 組織 2,000 名程度が参加予定²

(一部事業者は地方会場及び自職場において参加、見学参加も含む。)

¹ 各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制である「セプター」(CEPTOAR)の関係者も出席
(CEPTOAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response)

² 2015 年度実績 : 302 組織 1,168 名

3. 演習の概要

本演習では、I T 障害等の対応における判断や意思決定、社内外との情報共有等の検証を目的として、2部構成で実施します。

第1部では、各分野においてサービスへの影響が小さいI T 障害が発生したことを想定し、関係者間での連携を図ることによる情報共有体制の実効性を検証します。

第2部では、サービスへ影響が生じるI T 障害が発生し、事業継続が脅かされるケースを想定し、情報共有体制における手順の確認をするなど、こうした状態への対処を検証します。

以上2部構成とすることで、それぞれの課題に対する参加事業者等による対応能力の向上と我が国重要インフラ全体の障害対応体制の強化を図ります。

4. カメラ撮影

演習当日、開会式の模様のカメラ撮りを希望される方は、12月2日(金)12時までに enshu2016@nisc.go.jp まで、社名、ご氏名、連絡先、撮影機材の有無について、メールにてご連絡願います。

5. 問い合わせ

本演習に関する事前のご質問等がある場合は下記担当までお願いいたします。

(問い合わせ先) 内閣サイバーセキュリティセンター (担当：荻野、佐藤) 電話：03-3581-8903

分野横断的演習とは ～目的、参加機関、演習概要～

<目的>

情報セキュリティ対策等の実効性の検証と、サイバー攻撃等による分野横断的なIT障害が発生した際の重要インフラ防護能力の維持・向上

<参加機関>

【重要インフラ事業者等】

13分野(情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、政府・行政サービス、医療、水道、物流、化学、クレジット、石油)

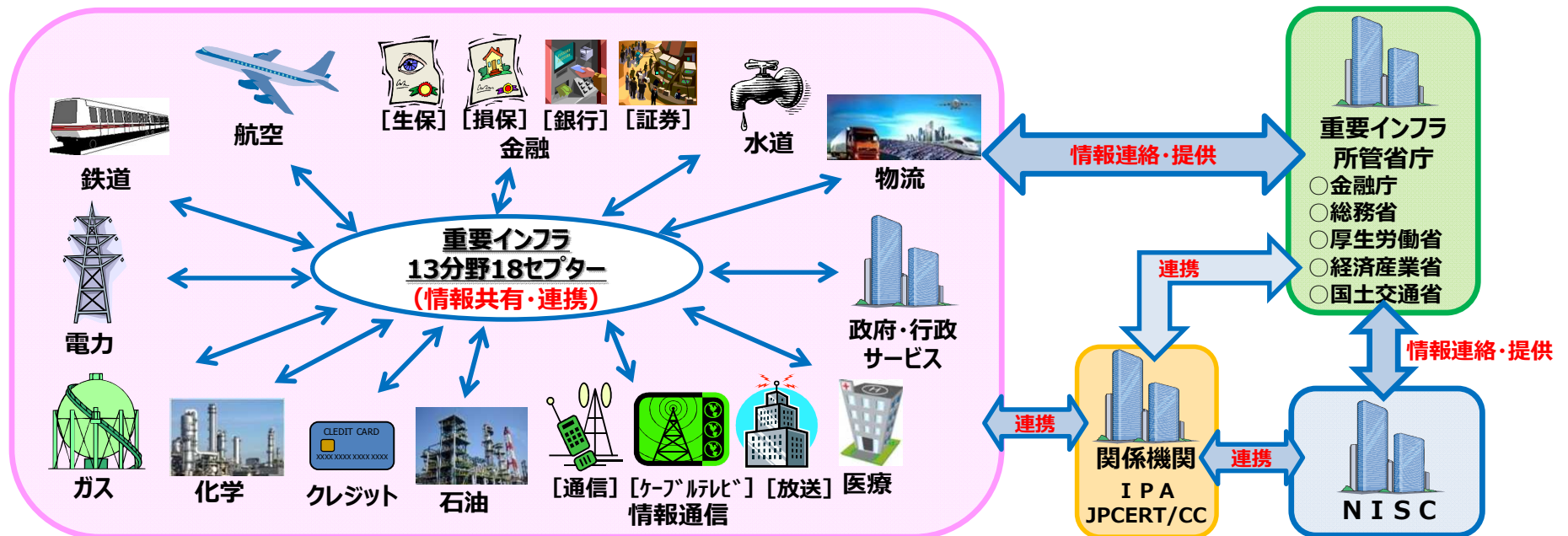
なお、各重要インフラ分野において整備されている情報共有体制である「セプター」の関係者も出席

【政府機関等】

重要インフラ所管省庁(金融庁、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省)、情報セキュリティ関係機関、NISC 等

<演習概要>

関係者間での連携を図ることにより、情報共有体制の実効性の検証を行う。



※ セプター：各重要インフラ分野で整備されている情報共有体制のこと。情報共有・分析機能を示す文言の頭文字。(CEPTOAR: Capability for Engineering of Protection, Technical Operation, Analysis and Response)